

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 27 年度第 3 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 27 年 9 月 16 日 (水)  
午前 10 時 00 分から午後 2 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 7 階 710 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 1 名  
オブザーバー 6 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 北 和之  
理事 高橋 幸弘  
理事 田中 賢治  
理事 成瀬 元  
理事 西 弘嗣  
理事 浜野 洋三  
理事 日比谷 紀之  
理事 道林 克禎  
理事 村山 泰啓  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー  
宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶  
大気水圏科学セクションプレジデント 中島 映至

地球人間圏科学セクションバイスプレジデント 春山 成子  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治  
広報普及委員長 田近 英一  
2017年大会国内準備タスクフォース議長 末廣 潔

## 7. 審議事項

### 第1号議案 新入会員承認の件（成瀬元理事）

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

### 第2号議案 委員会委員承認の件（成瀬元理事）

ダイバーシティ推進委員会、大会運営委員会、教育検討委員会の新委員を承認した。

### 第3号議案 フェロー制度規則改定の件（成瀬元理事・中村正人理事）

フェロー制度規則第1条および第2条について改正を審議し改正案が承認された。

### 第4号議案 EGU との MOU の改定の件（木村学副会長）

EGU との今後の協力体制について議論した。今後 MOU を改定し、EGU と連合のそれぞれの会員が互いの大会に会員料金を参加登録できるように MOU を改訂するよう、働きかけてゆくことを承認した。

### 第5号議案 理数系学会教育問題連絡会シンポジウム 共同主催の件（畠山正恒理事（事務局代理））

理数系学会教育問題連絡会によるシンポジウム「理数系教育におけるアクティブ・ラーニング」を共同主催とすることを審議し、これを承認した。

### 第6号議案 その他

田中理事より「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」の活動について報告があり、その中で「防災学術連携体」（同連絡会より改称）への年会費5万円の支出について道義があった。これを承認した。

## 8. 報告事項

### (1) 津田敏隆代表理事職務報告

津田代表理事より、連合全体の活動について報告があった。

内閣府公益認定等委員会による立ち入り検査について報告があった。

10月8日に開催される学協会長会議に向けての準備報告があった。

## (2) 川幡理事（ジャーナル担当）職務報告

ジャーナルの出版状況について報告があった。投稿・出版については順調に進んでいる。

2015年連合大会におけるAGUとEGU各presidentによる講演において、各々十数誌の学術誌を出版していることが紹介された。連合への加盟学協会による国際誌の出版も含めれば、日本の地球惑星科学のコミュニティによる出版も同様に十数誌の出版を行ってきている。そこで、連合への加盟学協会との連携について更に促進するための試みを検討している。現在、連合のロゴを掲載している学協会の学術誌が5誌ある。これを拡大しより多くの学術誌にロゴを掲載してもらい、連合ホームページなどを活用しながら、連合として協力関係のある学術誌であることをアピールしてゆくため、十月に開催される学協会長会議において、この趣旨を提示し、協力をあおぐことが了承された。

## (3) 木村理事（グローバル戦略担当）職務報告

8月18日に開催されたグローバル戦略委員会、およびその後の打ち合わせ、議論等についての報告があった。

2016年大会では国際化を更に促進するため、“For borderless world of geoscience”というキャッチフレーズを設定する。また若手参加者に対する旅費援助の制度を策定中である。

2015年AGUのFall Meetingでの準備会の開催を検討している。

2016年大会では従来のようなInternational symposiumというくくりをなくし、連合大会全体が国際的な大会であることをアピールしてゆく。またそれにあわせて実態としても、ポスターや発表資料等の英語化もしくは日英併記を2015年大会に引き続き参加者に呼びかけ、海外参加者が国際的な大会であると認識できるよう努める。

一方で、現状としては連合大会が万人に国際大会であると認められる段階にいたっていないため、英語を公用語としたセッションを国際セッションとして抽出する枠組みは必要であるとの意見もあった。

## (4) 中村理事（顕彰担当）職務報告

中村理事および成瀬理事より、10月からのフェロー募集に向けて準備を開始した報告があった。選出スケジュール、推薦の様式の説明があった。

## (5) 古村理事（総務担当）職務報告（事務局による代理）

前回の理事会以降連合が承認した後援等の報告があった。

代議員選挙について進行状況報告があった。9月14日に立候補・推薦が締め切られ、現在は選挙管理委員会の候補者リストの確認中である。

選挙管理委員会での審議事項の報告がい、立候補・推薦の抱負文の文字数制限について、現在「英文（和文100字相当）」としているが、英文に換算した場合の文字数をスペースを含め半角文字300文字以内とすると制定したことが報告された。

(6) 北理事（財務担当）職務報告

現在の決算状況について報告があった。

2016年大会での参加登録料改定について報告があった。前回理事会での決議を受け、財務、大会運営、システム情報委員会にて、参加登録料を決定した。

会員に対してより詳細な内訳と検討過程を公開する必要があるとの意見があり、検討を開始した。

(7) 浜野理事（大会運営担当）職務報告

2016年大会の準備状況について報告があった。

参加登録料の改定に伴い、様々なサービスの向上を計画している。会場を拡大し、収容力を向上する。会場設備を改善する。無線LANをより充実させる。小規模講演会場を一部合体しニーズに合わせる。大会期間直前にも参加登録ができるようにする。大会期間中にも正会員登録が可能とする。等、無数に改善点が挙げられる。

これらの改善点は今後網羅的な形で会員に公開することが必要であるとの意見があった。

(8) 高橋理事職務報告ダイバーシティ推進委員会（仮）の名称

ダイバーシティ推進委員会（仮）の名称を

**Committee for diversity management and talent pool**

とすることの報告があった。

(9) タスクフォース活動状況報告（末廣理事）

JpGU2017年大会準備タスクフォース報告があった。

ジョイントセッション、ユニオンジョイントセッションについて検討している。

(10) セクションからの報告

中島映至セクションプレジデントより、大気水圏科学セクション活動報告があった。タスクフォース会合・リモートセンシング分科会の地球科学研究高度化ワーキンググループ「我が国の地球観測の将来計画に関する提言」が紹介された。連合へもサポートレターが要請されているため、近日正式な要望書が提出される。

春山成子バイスプレジデントより、地球人間圏科学セクション活動報告があった。ICSU（国際科学会議）、ISSC（国際社会科学評議会）、CIPSH（国際哲学人文学会議）が共同で2016年を「国際地球理解年（International Year of Global Understanding: IYGU）」とする宣言をしたことが紹介された。連合でもこれに関わるシンポジウムやセッションを検討するなど協力活動を行うことが提案され、今後検討してゆくとした。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後2時00分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成27年9月16日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第3回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印
出席監事	松浦	充宏	印